

平成30年9月10日
午後3時30分から
区役所12階1204会議室

平成30年度 第3回足立区環境審議会資料

<審議事項>

- 審議事項1 第四次足立区一般廃棄物処理基本計画（素案）について・・・ 1
- 審議事項2 足立区災害廃棄物処理計画（素案）について・・・ 2

<報告事項>

- 報告事項1 平成29年度の環境基本計画の指標の進捗状況について・・・ 3
- 報告事項2 平成29年度の区施設におけるCO₂排出量、ごみ量について・・・10

平成30年度第3回足立区環境審議会資料

件名	第四次足立区一般廃棄物処理基本計画（素案）について
所管部課	環境部ごみ減量推進課
事業（結果） の概要	<p>第四次足立区一般廃棄物処理基本計画の策定にあたり、素案をまとめたので報告する。【別冊資料1参照】</p> <p>1 計画期間 2019年から2028年までの10年間を計画期間とする。</p> <p>2 本計画の構成 以下のとおり本編を6章で構成し、計画の前提となる人口動態や資源・ごみ推計量の算出根拠等を示した資料編で構成する。</p> <p>第1章「計画策定の趣旨」 計画の目的や位置づけ、計画期間、対象廃棄物の設定</p> <p>第2章「計画の基本的な考え方」 計画の基本理念、区民・事業者・行政の役割</p> <p>第3章「清掃事業における課題分析」 清掃事業における個別具体的な課題分析</p> <p>第4章「計画期間における目標値」 計画期間における個別目標値の設定と現状分析</p> <p>第5章「ごみ減量と資源化の推進（基本方針）」 基本方針、計画期間における個別施策</p> <p>第6章「生活排水処理基本計画」 し尿、生活雑排水の処理計画</p> <p>3 第4回環境審議会（11月9日）での報告事項 必要な事項等を精査し、計画案をまとめる。</p>

平成30年度第3回足立区環境審議会資料

件名	足立区災害廃棄物処理計画（素案）について
所管部課	環境部ごみ減量推進課
事業（結果）の概要	<p>足立区災害廃棄物処理計画策定にあたり、災害廃棄物発生量（内訳）、仮置場候補地等の素案をまとめたので報告する。【別冊資料2参照】</p> <p>1 東京湾北部地震による被害想定及び災害廃棄物発生量（内訳） 別冊資料2 7ページから10ページまで参照</p> <p>2 仮置場候補地 別冊資料2 16、17ページ、39ページから45ページまで参照</p> <p>（1）区立公園 313箇所 災害時活動拠点、不適場所、私有地等の区立公園 40箇所は除外（その他、児童遊園 153箇所、プチテラス 99箇所は、区民の一般利用場所として仮置場候補地とはしない）</p> <p>（2）緊急仮置場候補地 30箇所 仮置場候補地 313箇所のうち、緊急道路障害物除去路線付近の区立公園 30箇所については、道路啓開に伴う瓦礫・車両等を保管する緊急仮置場候補地とする。</p> <p>（3）区の廃止施設（跡地利用が未定）、区画整理事業地等 仮置場に適した場所については、所管（管理者等）と協議のうえ候補地とする。</p> <p>（4）荒川河川敷 現在、国において仮置場設置に向けた方針を検討している。今後、「荒川防災施設活用計画（場所・運用等）の改定」に基づき、仮置場の候補地としていく。</p> <p>3 第4回環境審議会（11月9日）での報告事項 必要な事項等を精査し、計画案をまとめる。</p>

平成30年度第3回足立区環境審議会資料

件名	平成29年度の環境基本計画の指標の進捗状況について				
所管部課	環境部環境政策課				
事業(結果)の概要	<p>第三次足立区環境基本計画（以下「計画」という。）の平成29（2017）年度の指標の数値がまとまったのでその概要を報告する。 なお、計画の目標と比較しやすくするため、以下、西暦で表記する。</p> <p>1 2017年度の実績</p>				
	指標と単位（◆：低減目標）		2024年度 目標	2017年度 実績	2016年度 実績
	柱1 地球温暖化・エネルギー対策				
	1-1	省エネルギーを心がけている人の割合（％）	70.0	52.6	51.3
	1-2	区内の再生可能エネルギーの導入容量（kW）	36,000	(※1) 34,336	33,818
	1-3	◆熱中症で搬送される患者数（人）	160	202	197
	柱1に兼ねる足立区地球温暖化対策実行計画で定める 中長期的なCO ₂ 削減目標				
	1-4	◆区内のCO ₂ 排出量（t）	197万	228.7万 (※2)	242.7万 (※2)
	柱2 循環型社会の構築				
	2-1	◆1人1日あたりの家庭ごみ排出量（g）	470	539.9	549.9
	2-2	資源化率（％）	27.0	19.1	19.5
	2-3	◆区内のごみ量（t）	158,400	177,519	179,700
	柱3 安全・安心で快適なくらしの確保				
	3-1	◆工場等に対する公害苦情相談件数（件）	232	373	315
	3-2	地域で自主的に美化活動をしている団体数（団体）	400	319	254

指標と単位		2024年度 目標	2017年度 実績	2016年度 実績
柱4 自然環境・生物多様性の保全				
4-1	生物とふれあう事業の参加者数（人）	330,600	338,463	307,651
4-2	区民参加型の生物調査の参加者数（人）	200	40	40
4-3	樹木被覆率（%）	8.7	9.4	8.3
柱5 学びと行動のしくみづくり				
5-1	環境に配慮した製品を選んで使う人の割合（%）	25.0	11.8	12.0
5-2	環境学習プログラムに参加し、修了した人の数（人）	2,000	565	414
5-3	エコ活動ネットワーク足立の登録団体が実施した自主的な環境保全活動数（回）	250	7	未実施

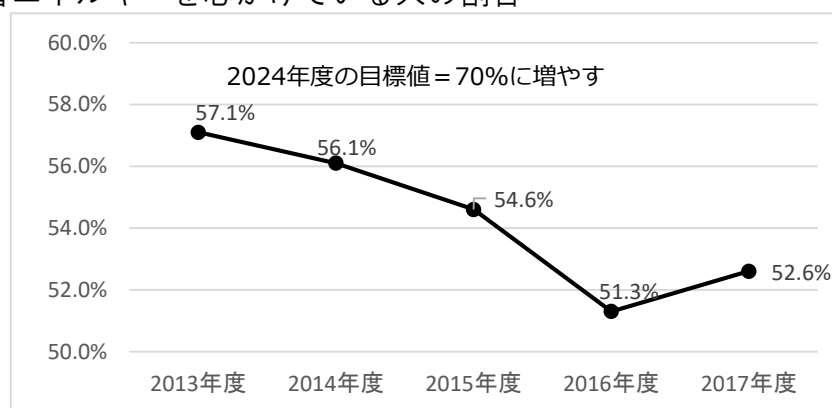
※1 資源エネルギー庁が公表する固定価格買取制度における再生可能エネルギー発電設備導入状況等の数字。

2017年度末が未公表のため、2017年9月末の数字。

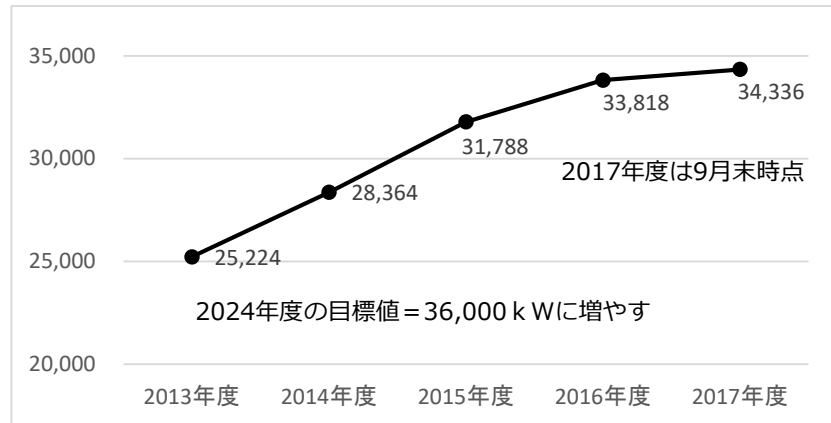
※2 当該年度に判明した2年前の数値（2017年度は2015年度の数値）

2 指標の過去5年間の推移

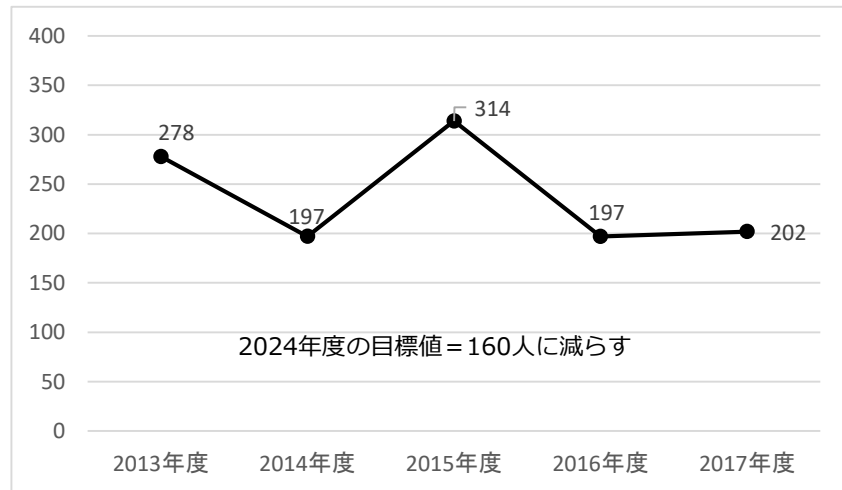
1-1 省エネルギーを心がけている人の割合



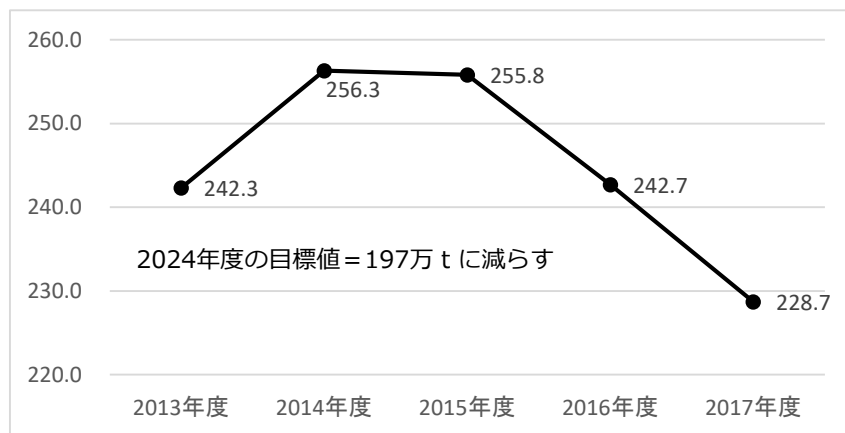
1-2 区内の再生可能エネルギーの導入容量（単位：kW）



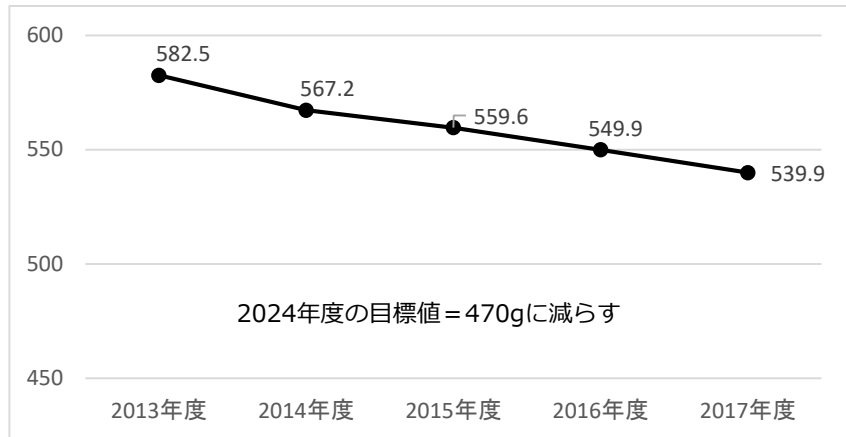
1-3 熱中症で搬送される患者数（単位：人）



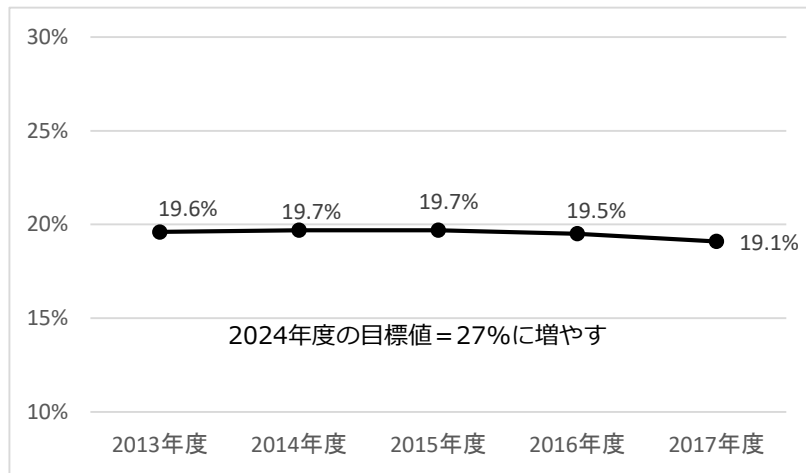
1-4 区内のCO₂排出量（単位：万t）



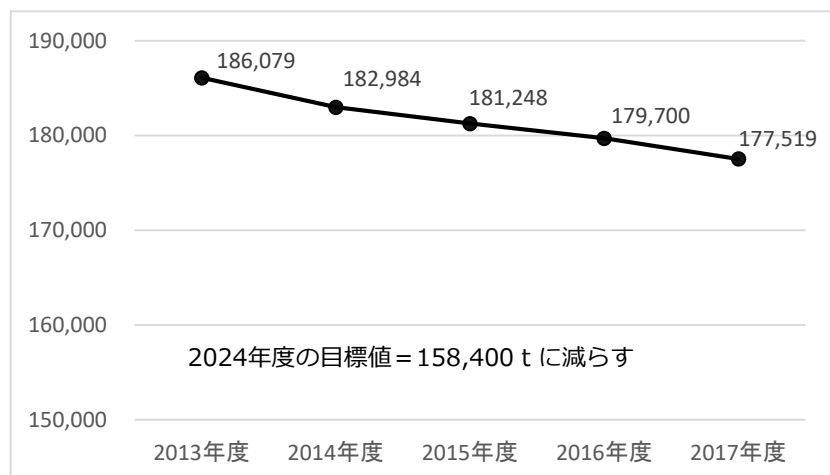
2-1 1人1日あたりの家庭ごみ排出量（単位：g）



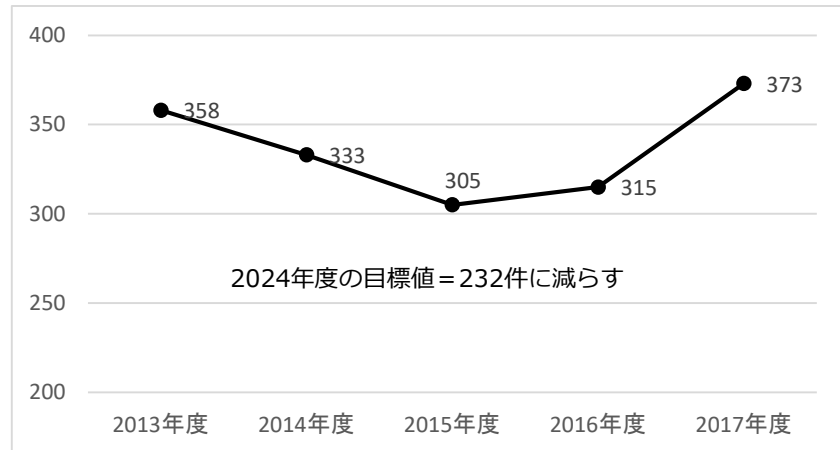
2-2 資源化率



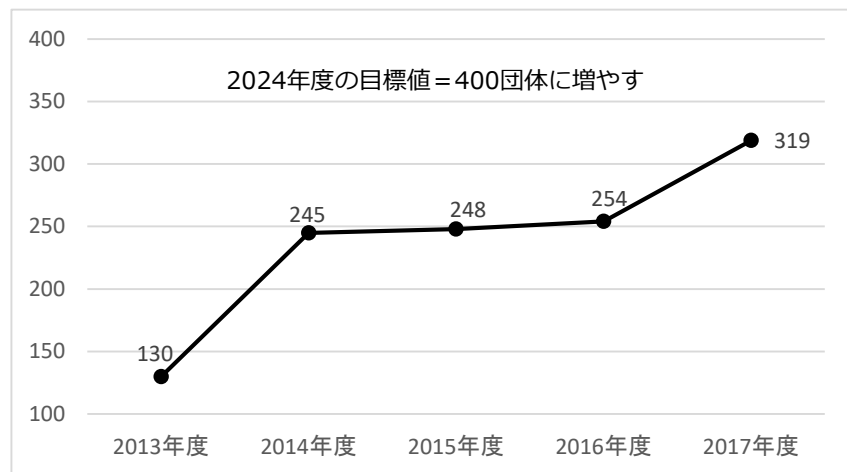
2-3 区内のごみ量（単位：t）



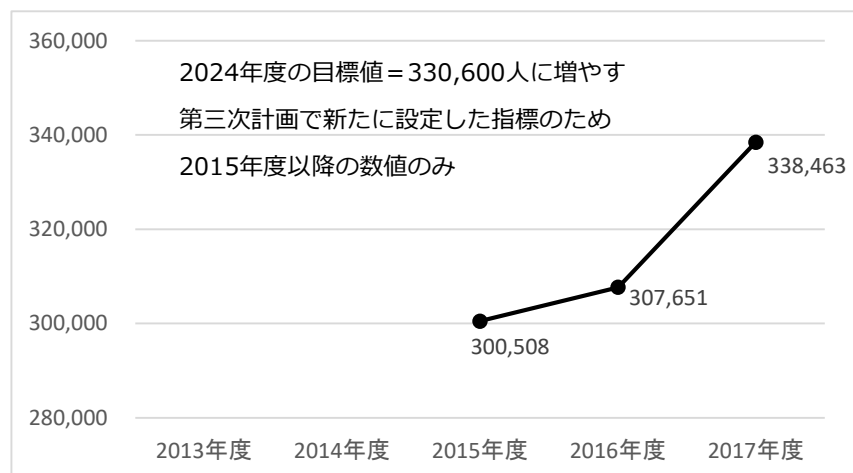
3-1 工場等に対する公害苦情相談件数（単位：件）



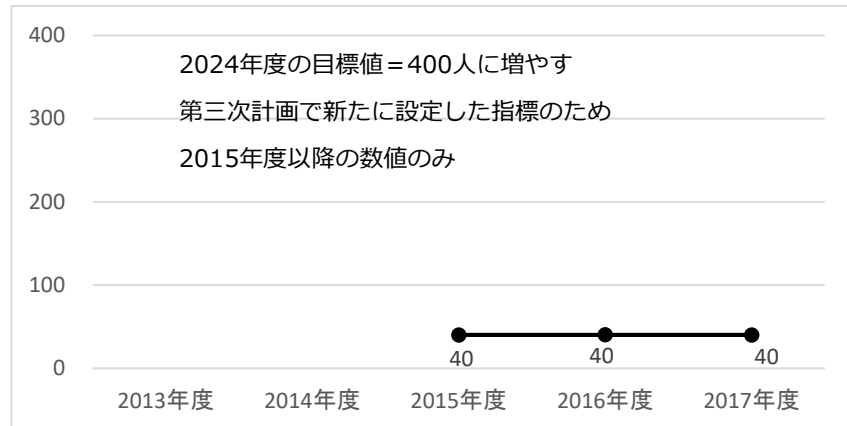
3-2 地域で自主的に美化活動をしている団体数（単位：団体）



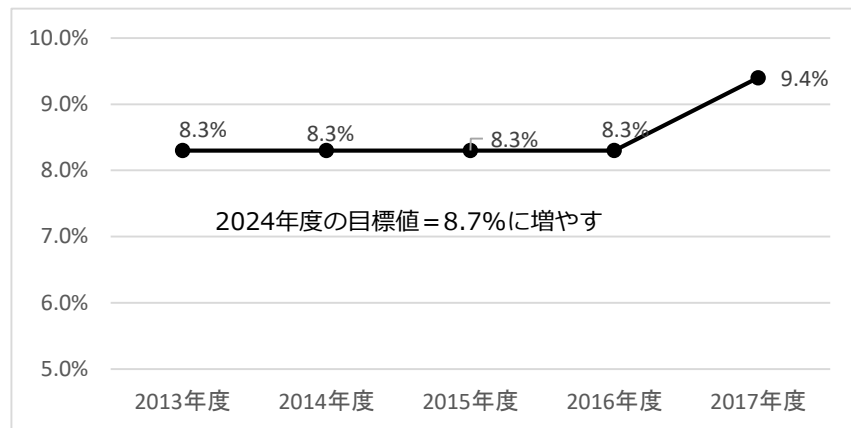
4-1 生物とふれあう事業の参加者数（単位：人）



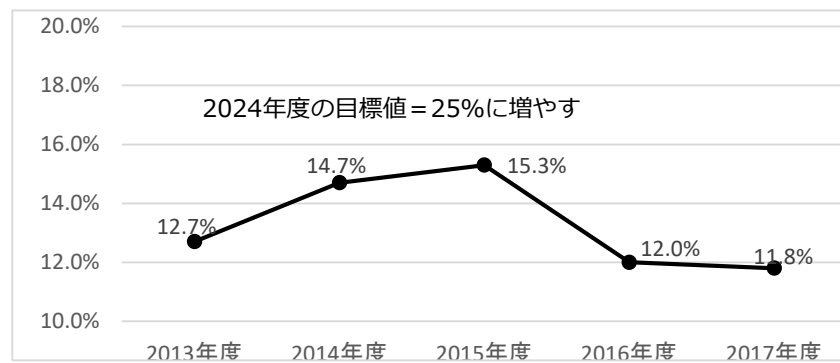
4-2 区民参加型の生物調査の参加者数（単位:人）



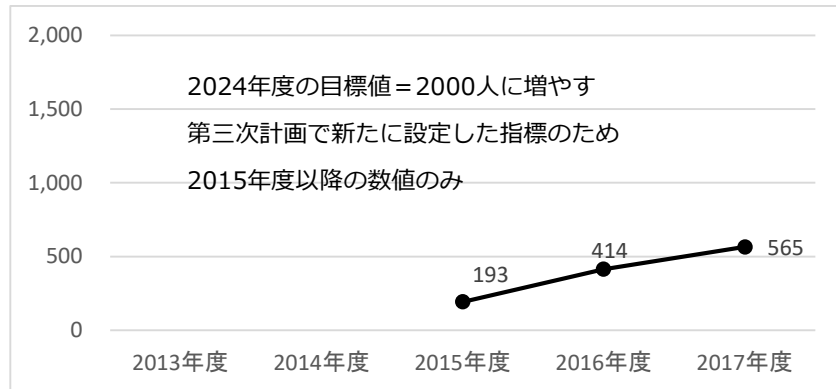
4-3 樹木被覆率



5-1 環境に配慮した製品を選んで使う人の割合



5-2 環境学習プログラムに参加し、修了した人の数（単位：人）



5-3 エコ活動ネットワーク足立の登録団体が実施した自主的な環境保全活動数（単位：回）

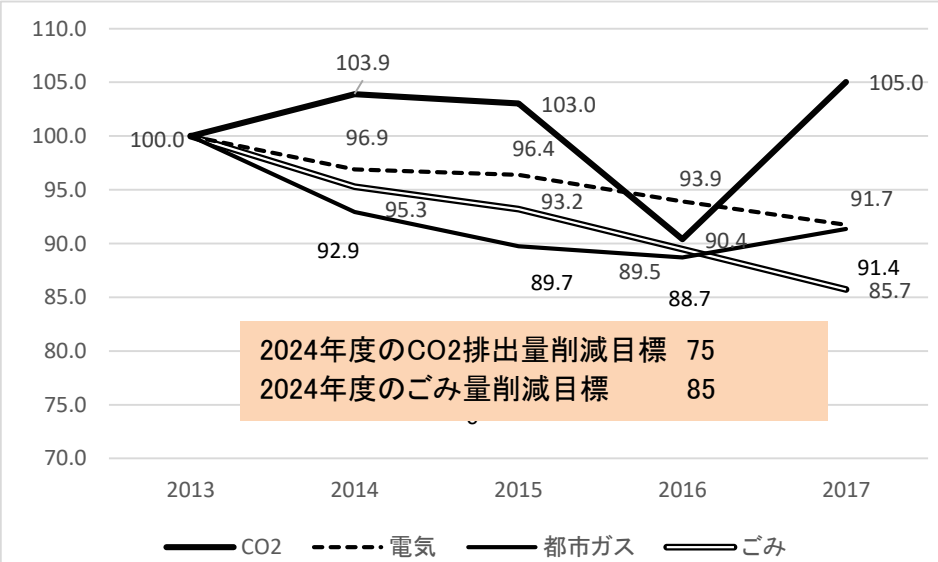


3 今後の方針等

進捗状況を庁内に周知するとともに、計画期間の初年度の実績を踏まえ、目標達成に向けて、関係各課と取組みを進めていく。

また、特に数値が伸び悩んでいる「環境に配慮した製品を選んで使う人の割合」については、世論調査の項目が分かりにくい影響も考えられるため、具体例を示すことを検討していく。

平成30年度第3回足立区環境審議会資料

件名	平成29年度の区施設におけるCO ₂ 排出量、ごみ量について																								
所管部課	環境部環境政策課																								
事業(結果)の概要	<p>平成29(2017)年度の区施設におけるCO₂排出量、ごみ量の実績がまとまったので、その概要を報告する。</p> <p>なお、足立区公共施設地球温暖化対策推進実行計画(以下「実行計画」という。)の削減目標と比較しやすくするため、以下、西暦で表記する。</p> <p>1 対象施設 本庁舎、区民事務所、住区センター、生涯学習・スポーツ施設、福祉事務所、保健センター、小中学校、保育園、区道の街路灯など</p> <p>2 2017年度のCO₂排出量、ごみ量</p> <table border="1" data-bbox="443 813 1417 969"> <thead> <tr> <th></th> <th>2017年度</th> <th>前年度比</th> <th>2013年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CO₂排出量</td> <td>38,906 t</td> <td>16.2%</td> <td>5.0%</td> </tr> <tr> <td>ごみ量</td> <td>2,271 t</td> <td>▲4.2%</td> <td>▲14.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 2017年度の電気・都市ガス使用量</p> <table border="1" data-bbox="443 1028 1417 1184"> <thead> <tr> <th></th> <th>使用量</th> <th>前年度比</th> <th>2013年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気使用量</td> <td>65,334,538 kWh</td> <td>▲2.3%</td> <td>▲8.3%</td> </tr> <tr> <td>都市ガス使用量</td> <td>3,090,794m³</td> <td>3.0%</td> <td>▲8.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 実行計画の進捗状況</p> <p>(1) 実行計画の2024年度の目標 CO₂排出量 2013年度比25%削減 ごみ量 2013年度比15%削減</p> <p>(2) CO₂排出量、ごみ量、電気・都市ガス使用量の推移 2013年=100</p> 		2017年度	前年度比	2013年度比	CO ₂ 排出量	38,906 t	16.2%	5.0%	ごみ量	2,271 t	▲4.2%	▲14.3%		使用量	前年度比	2013年度比	電気使用量	65,334,538 kWh	▲2.3%	▲8.3%	都市ガス使用量	3,090,794m ³	3.0%	▲8.6%
	2017年度	前年度比	2013年度比																						
CO ₂ 排出量	38,906 t	16.2%	5.0%																						
ごみ量	2,271 t	▲4.2%	▲14.3%																						
	使用量	前年度比	2013年度比																						
電気使用量	65,334,538 kWh	▲2.3%	▲8.3%																						
都市ガス使用量	3,090,794m ³	3.0%	▲8.6%																						

5 2017年度のCO₂排出量の増加原因

電気使用量が減少したにもかかわらず、CO₂排出量が大きく増加したのは、電力会社の排出係数の影響を受けたためである。

区が電力を調達している事業者の排出係数（50音順）

（※排出係数 1kW発電する際のCO₂排出量 単位kg）

事業者名	2017年度	2016年度
エネサーブ株式会社	0.500	0.130
株式会社エネット	0.441	0.441
株式会社Fパワー	0.467	0.358
JXTGエネルギー株式会社	0.459	調達なし
東京エコサービス株式会社	調達なし	0.150
東京電力エナジーパートナー株式会社	0.474	0.491
丸紅新電力株式会社	0.485	0.493
区が調達した電力全体の平均	0.471	0.386

なお、東京電力株式会社は2016年4月に発送電分離に伴い分社化した。区が電力を調達しているのは、小売電気事業を行う東京電力エナジーパートナー株式会社である。

6 今後の方針等

CO₂排出量は電気事業者の排出係数に左右され、必ずしも区の実績が反映されていない面もある。

しかし、電気事業者は排出係数の改善に計画的に取り組んでおり、国や都も広域的な視点から地球温暖化対策を実施するので、これらに加え、区の実績を重層的に進め、実行計画の削減目標達成を目指す。